

2019年度（2019.5.1～2020.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（日本医療福祉生活協同組合連合会）

記入者（山野内 宰）

この一年間の取り組みの特徴について

- 「協同の力でいのち輝く社会をつくる」を中心テーマに、地域の「くらしの困った」解決に向け、組合員と事業所、また他団体が協力連携した。誰もがいつまでも安心して住み続けられるまちづくりを目指した「3つのつくろうチャレンジ（つながりマップづくり、居場所づくり、支部づくり）の取り組みを推進した。
- 組合員と地域住民の「くらしを支えとりくみ」をすすめた。
 - ・2015年度から5年間で78生協（477支部・48事業所）が作成、マップづくりを通して、組合員・地域の人々の「くらしの困った」を把握し、自治体・他団体、地域とのつながりを深めた。
 - ・多世代交流を促す「居場所づくり」・・・1,242カ所
 - ・「子ども食堂」「子ども無料塾」など子育て支援、学習支援
 - ・くらし助け合い活動：無償での実施数8生協、有償での実施数57生協
 - ・認知症カフェの運営：生協単独開催22生協、他団体と合同開催17生協
- 「日本国憲法が生きる平和な社会をめざし、学び・広げ・連帯する」とりくみを推進した。
 - ・沖縄辺野古新基地建設をはじめとする基地問題への学習や行動：89生協
 - ・憲法を守る学習会や集会参加、アピール行動を実施した回数：831回
 - ・社会保障に関して自治体と懇談：68生協（懇談要請回数：447回）
 - ・東日本大震災の被災地訪問・交流の活動など

学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ

- 社会保障制度を学ぶ「社保学校(くらしの学校)」31生協110回開催, 2,289人が参加

署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴

- 社会保障制度の拡充を求める全国いっせい街頭宣伝「虹のバレンタイン行動」66生協426回実施
- 社会保障制度の拡充を求める理事会声明やアピール発信23生協

自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について

議員要請行動について(国会議員、地方議員等)

- 加盟団体の政党要請行動に参加

その他

- 自治体と見守り等の協定締結：48協96自治体

署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 「国の責任で社会保障の拡充を求める請願署名 (25条署名)	
② 「介護改善署名」	
③ 「後期高齢一部負担金2割化反対署名」	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「424共同・地域医療署名」	
⑧ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑨ 「憲法改悪反対署名」	
⑩ その他()	
⑪ 憲法を活かす全国統一3000万署名	1173,283筆
⑫ 核兵器廃絶国際署名(ヒバクシャ国際署名)	562,025筆
2019年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 8月17日(月)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

第64回全国総会・文書発言用紙

※字数の制限はありません。ただし、当日発言は3分。
※発言資料についてもあわせて添付ください。

<組織名・発言者名>

日本医療福祉生活協同組合連合会 古舘直子

<テーマ>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響と医療福祉生協の活動について

<内 容>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により医療機関の経営が悪化していることはすでに多くの報道機関でとりあげられている通りであり、各医療団体から国に対して医療機関への財政支援の要請が出されています。

弊会といたしましても、「医療崩壊・介護崩壊をおこさないために、医療機関および介護事業所への財政支援を求める緊急要望書」を安倍内閣総理大臣、加藤厚生労働大臣に提出しました。新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた病院、または入院受け入れ準備をおこなった病院へは一定の減収補填がすすめられておりますが、それ以外の病院、診療所でも大きな減収となっており、外来や健診・人間ドックおよびそこからの入院や手術の減少が続いている現状では今後さらに経営悪化がすすみ、資金不足による経営破綻、医療崩壊が強く危惧されます。

このような厳しい状況に追い打ちをかけるように、感染者とともに医療従事者に対する偏見・差別も起きています。濃厚接触者ではないが「こどもの通園を断られた」、「看護師の夫が勤務先から出勤停止といわれた」など、不安や情報不足が背景にあるにせよ、残念な事例も広がっています。感染は誰かを非難しても収まりません。

いま、私たち医療福祉生協の強みである、「でかける・つながる・安心を結ぶ」組合員活動がままならない状況です。班会やサークルが開けない、機関誌の手配りでの対話や見守りができない、子ども食堂が開けず支援ができない、お互いさまの助け合い活動ができないなど、医療福祉生協らしい協同のとりくみが大きく制約を受けています。しかし、組合員が困りごとを抱えている今こそ、医療福祉生協のネットワークと総合力を発揮して、今できるやり方を模索し、知恵を寄せ合い、今できる「人と人とのつながり方」を探って実践していきます。